

金沢大学法学類月報

第9号 2014年6月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



雨の季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。法学類月報第9号では、福本知行准教授の紹介、学生を対象とする法学分野の懸賞論文では最も権威のある、みずほ学術振興財団懸賞論文コンクールで入賞された酒井陽子さんの体験記、オープンキャンパスのご案内をお届けします。



◆連載◆ 法学類の先生 第7回 福本知行先生（民事訴訟法）

法学類の先生の中では、授業とは別に教室の外で学生と接する機会が多い方だろうと自覚しています。若手の先生方には不思議がられますが、本人は至って単純、学生とつるんで何かをすることが純粹に面白く、しかも学生だけでなく私自身も成長したと実感することが少なからずあります。

例えば法学部（法学類）ハンドブックの編集（2006年）。それから、没落した司法試験受験団体でしかなかった法友会を、法教育の研究・実践や岡山大学法学部との教員をも巻き込んだ交流など、メンバーの創意工夫による様々な対外的プロジェクトを遂行するアクティブな団体に再生（2010年春から約3年）したこと。授業として開講していた裁判劇の制作と実演が発展した、もぎさいの創立（2010年秋）など。どれも学生だけではできないこと、教員だけではできないことでした。歯車がうまく噛み合ったおかげで、その有形無形の成果を学生と共有することができました。

時にはそんなサイクルが中断され、私のエネルギーが吸い取られる一方で、耐え難い徒労感を抱くことの方が多かった時期もありますが、そんな負のサイクルを終わらせてくれるのもまた素敵な学生たちとの出会いです。協同して何かアクションを起こし、そこから得られる達成感と心地よい疲労感とを共有できる、元気な学生に1人でも多くめぐり合うことを、日々楽しみにしています。

「懸賞論文の執筆から学んだこと」



平成26年度、第55回みずほ学術振興財団懸賞論文コンクール（法律・学生の部）において3等を受賞しました。このコンクールには2年生のころから応募しており、賞をいた

だくのは3度目となります。

論文を書く際に指導されたのは「論文とは、自分の主張をいかに正確かつ説得的に伝えるかを追求した文章だ」ということです。説得的というためには、量・質・幅が担保された

論拠が必須です。つまり、信頼できる情報を幅広く収集することが重要だと考えます。今回賞をいただいた論文を書く際には、日本の文献だけではなく、海外の文献を参照しなければなりません。そのため、ゼミの指導教員である永江准教授から、海外の文献の探し方等の指導もいただきました。

論文を書くことと同様に進路を選択する際にも、また、進路の選択後も希望通りの進路を実現するためにも、情報が非常に重要になると思います。私は、大学1年生を徒に過ごし、2年生から進路について考え始めました。残りの時間で、希望の進路を実現するために、質の高い情報を幅広く得ることが必要でした。上記の理由から、永江准教授のゼミを選択しました。永江准教授のゼミや講義等から、文章構成などの大学生活だけではなく論文や社会に出てからも役に立つ情報や、就職活動に

おける有益な情報を得られたことが、3度の受賞、希望する企業への就職という結果に繋がったと思います。

就職後、私は文書を作成する機会を多く得ています。刻一刻と変わる状況に応じ、テンプレートではない文章の組み立てにおいて、日頃の情報収集のあり方が大変重要であると実感する日々です。いざ文書を作成するときに、あわてて調べるようでは、社員や世間を説得させる文書は作成できません。皆さんには、今のうちに、情報を収集する力を磨くことをお勧めします。

酒井陽子（平成26年3月法学類卒業）



お知らせ

オープンキャンパス・法学類企画のご案内

法学類では、8月7日、8日の両日、角間キャンパス人間社会第1講義棟でオープンキャンパスを開催し、様々な企画を用意して高校生の皆さんのおいでをお待ちしています。

法学類に少しでも興味があるあなたには、半日コースをおすすめします。午前の部・午後の部とも、法学類の概要説明（40分程度）の後、教員による模擬講義聴講、法学類生とのトークセッション、法学類生の上演する裁判劇傍聴（いずれも60分程度）のいずれかを選択して頂きます。

法学類にトコトンこだわりたいあなたには、1日コースをおすすめします。1日コースは、法学類の概要説明の後、裁判劇を制作した法学類生から裁判劇をもっと深く味わうためのレクチャーを受けてから、昼食をはさんで裁判劇を傍聴し、さらに他の参加者や法学類生と一緒に、劇中の事件の解決方法を考えるディスカッションを体験できます。

オープンキャンパスへの参加は事前の申込みが必要です。申込み方法等の詳しいことは、金沢大学HP（<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/event/opencampus.html>）をごらんください。また、模擬講義、裁判劇のテーマや概要等、法学類企画の詳細情報は法学類HP（http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/prospective/open_campus）で随時お知らせします。

- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類HP（<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>）に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係（n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp）までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。